

# スポーツ界における LGBTフレンドリーの実現をめざして

—東京2020のレガシーとして社会に何を残すか—



神奈川大学 大竹ゼミナール チームJ

○五十嵐 悠也 鈴木 喬大 西村 優希

宮坂 奈々 宇恵 南

現代社会において大切な価値観の一つ

# 「多様性（ダイバーシティ）」

幅広く性質の異なるものが存在し、受け入れること

障がい

セクシャリティ  
(LGBT含む)

価値観

国籍

性別

人種



## 【LGBT】とはなにか

戸籍上の男/女  
だけではない！

L	レズビアン	(女性同愛者)
G	ゲイ	(男性同愛者)
B	バイセクシャル	(両性同愛者)
T	トランスジェンダー	(性別越境者)

LGBT以外にも、

Q：クィア（性自認・性的指向がわからない人）等も存在する

# LGBTの全国の割合

日本の4大苗字

高橋さん



鈴木さん



佐藤さん



田中さん



全国の割合 **5%**

LGBTの方々



全国の割合 **7.6%**

# LGBTに対する世の偏見は少なくない…

偏見なし

偏見あり

理解している

身近の友人にいる

普通じゃない人？

同性を好きになる？

オネエ・おかま？

## ▶ LGBTに対する社会の問題

### 差別的発言

政治家の発言

「LGBTは生産性がない」

### 法律の問題

同性間の法的保障がない  
性別変更の厳しさ



## ▶ LGBTに対するスポーツ界の問題

### 戸籍上の男/女の区別

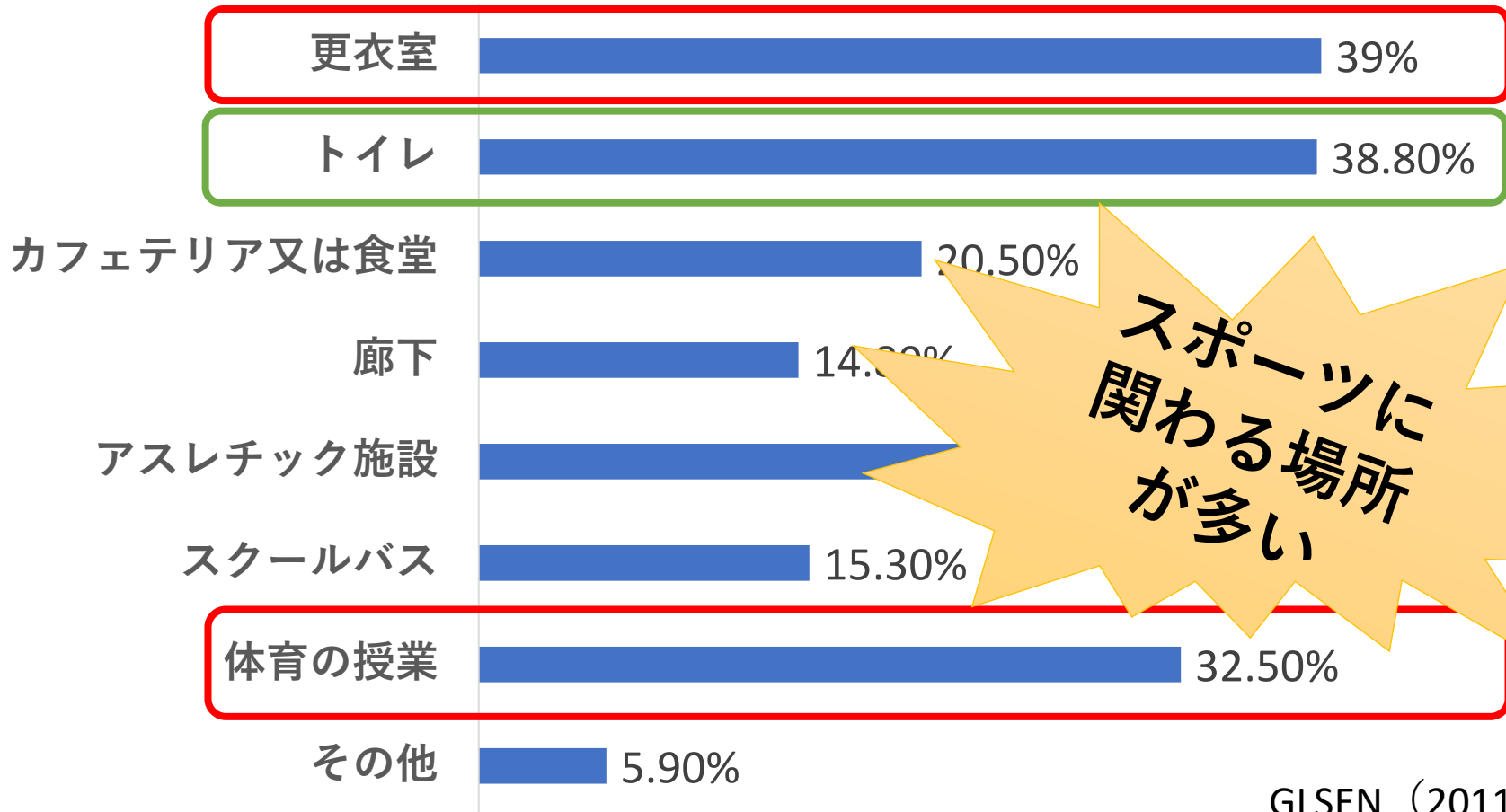
体格差、ユニフォーム・  
更衣室はどちらの性か

### ホモフォビア(同性愛嫌悪)

「男(女)らしく」という  
差別・偏見が生まれやすい



## LGBTの生徒が学校で不安感を抱いて避けようとする場所



GLSEN (2011)

# 一方、近年の五輪大会では…

## 2014五輪憲章

性的指向による差別の  
禁止を明記

## 2016リオ五輪

**50人以上**の選手が  
LGBTであることを公表

## 2010バンクーバー五輪

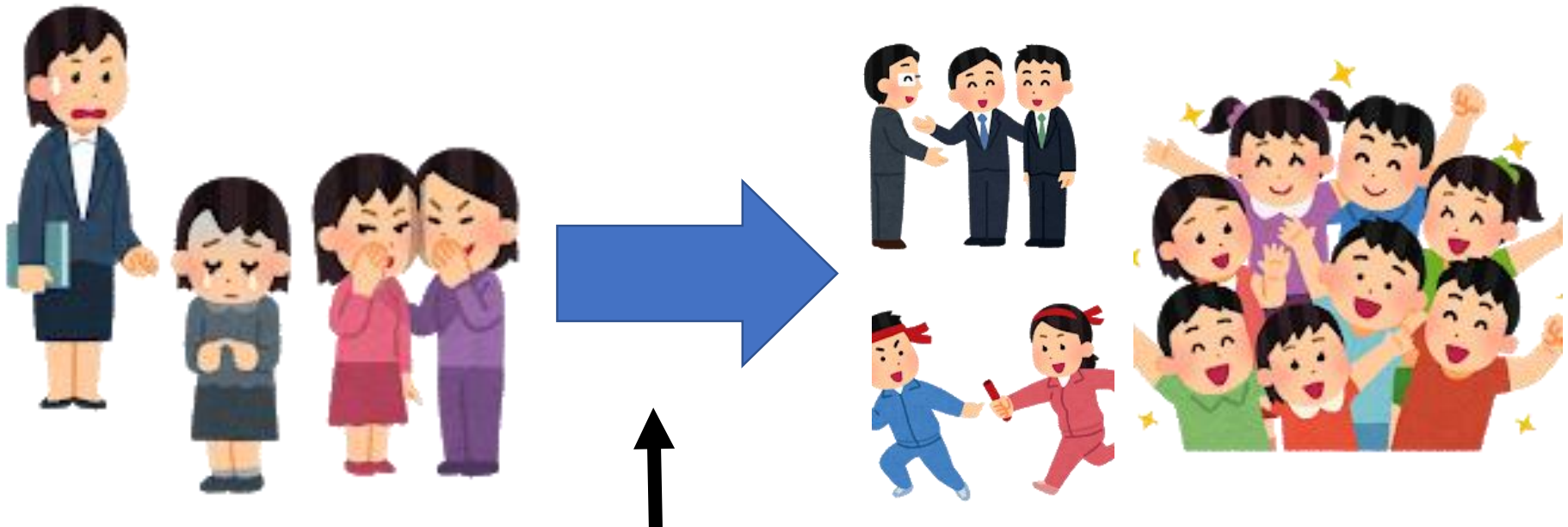
**プライドハウス※**の設立

※LGBTの情報発信や交流会を行う  
期間限定のホスピタリティ施設





# LGBTに対する社会全体の意識改革は 非常に困難を極める



大きな力が必要... ?

# LGBTに対する社会への意識改革には スポーツがもつ

アスリートの発言が流行語へ

魅力

影響力

発信力

国際大会等で世界中から注目を浴びる

が必要である

## 目指すべき姿

スポーツ界で  
LGBTフレンド  
リー※を推進

東京2020の舞台で  
LGBTフレンドリー  
を発信

多様性社会  
の実現へ

※LGBTフレンドリーとは  
LGBTの人々に対して温かく開かれた場所  
(アウト・ジャパンより)

## 目的

教育の根幹である学校生活でのLGBTに対する実態と  
スポーツの指導者の意識レベルを調査

## 文献調査

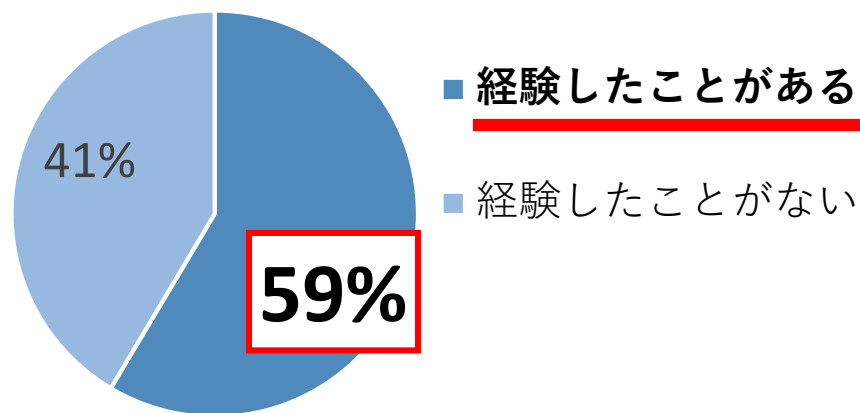
LGBT 当事者への意識調査（日高康晴2016）

スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査  
（日本スポーツ協会2017）

文献  
調査

学校生活におけるLGBT当事者の意識調査（日高2016）

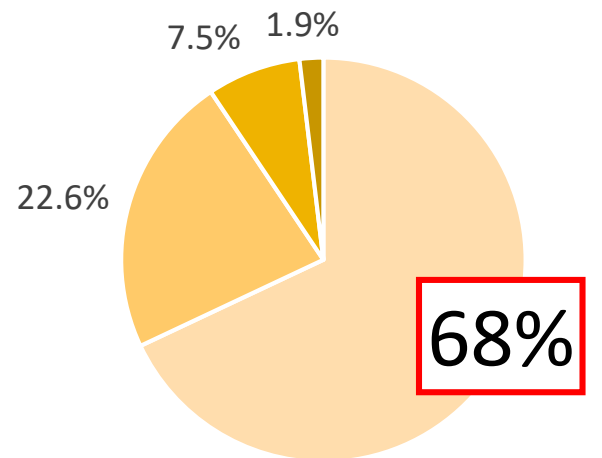
【学校生活でのいじめの経験】



【いじめ被害の内容】

「ホモ・おかま・おとこおんな」  
等による言葉のいじめ **63.8%**

【同性愛についての教育】

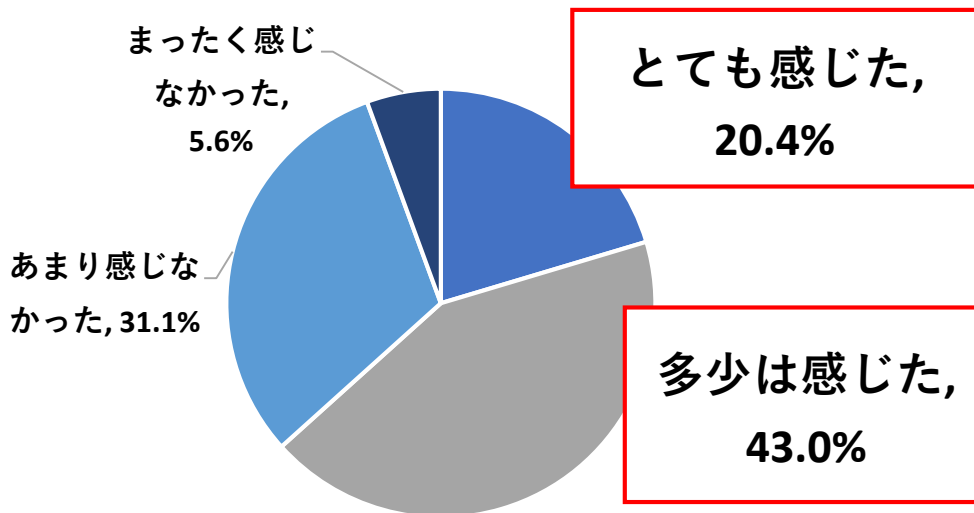


- 一切習っていない
- 異常・否定的な情報を得た
- 肯定的な情報を得た
- その他・無回答

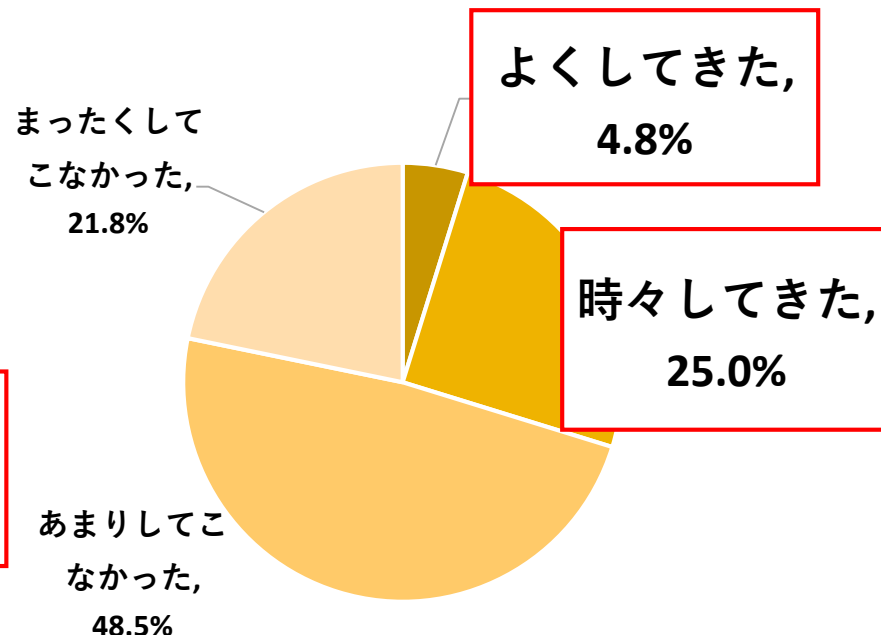
文献  
調査

スポーツ指導に必要なLGBTの人々の配慮に関する調査  
(日本スポーツ協会2017)

【LGBTについて知る必要性】



【LGBTについての情報収集の実施】



要望には、「指導者講習会の内容に含めてほしい」  
「情報がほしい」等が多数を占めていた

## 目的

文献調査をふまえ、  
現場での意識・実態や当事者の声をきくため

## ヒアリング調査

LGBTに対する教員の意識レベル  
学校・部活動での実態調査

当事者かつ支援者から見た  
スポーツ界におけるLGBTに対する課題調査

ヒアリング  
調査

LGBTに対する教員の意識レベル  
学校・部活動での実態調査

対象：横浜市教育委員会事務局 人権教育・児童生徒課 主任指導主事  
日時：2018年9月12日

指導の義務化がないため理解度は低いが、意識は高まっている

LGBTの生徒に対する配慮に規則やルールはない

男子サッカー部に女子生徒が所属している事例あり

体育の男女共修の推進、制服・髪型は本人の希望を尊重

教員向けの研修会、全生徒向けの学習会・交流会も増加傾向



ヒアリング  
調査

当事者かつ支援者から見た  
スポーツ界におけるLGBTに対する課題調査

対象：元フェンシング女子日本代表トランスジェンダー活動家 杉山文野氏  
日時：2018年9月13日

身体の差による、公平性と倫理性の葛藤

「男は男らしく」等というスポーツ界ならではの固定観念

カミングアウトはスポンサー、ファン、協会との信頼関係が必要

LGBTのアスリートのロールモデルがない

世界的にもアライ※は増えてきているが、日本全体は少ない

※アライ：セクシュアリティへの理解者・支援者

## 考察① 指導内容の曖昧さ

LGBTに対する理解度や必要性は高まっているが  
LGBTに関する指導は義務化されていない

【教員・指導者】 【生徒・プレーヤー】  
LGBTを「知る」機会を設ける必要



## 考察② スポーツ界特有の LGBTフレンドリーの妨げ

スポーツ界は身体の戸籍で分けられ  
「男は男らしく」という固定観念が根強い

スポーツ界においてLGBT競技者への  
理解や支援を浸透させる



## 考察③ 多数派の理解が不十分

少数派を異質なものと見たり  
排除しようとする意識

研修や交流でアライを増やし  
多様性を社会全体で認め合う



# スポーツ界での3つの政策をふまえ 東京2020の舞台でLGBTフレンドリーを発信

提言 1

知る

提言 2

行動する

提言 3

支える

提言 4

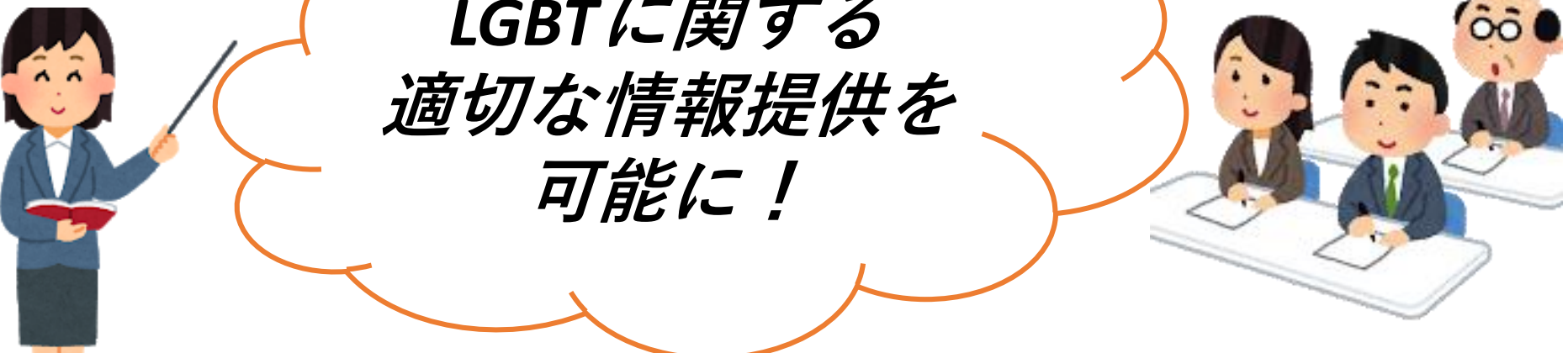
東京2020で行う4つの施策



## 提言 1. 「知る」 (提言先：日本スポーツ協会)

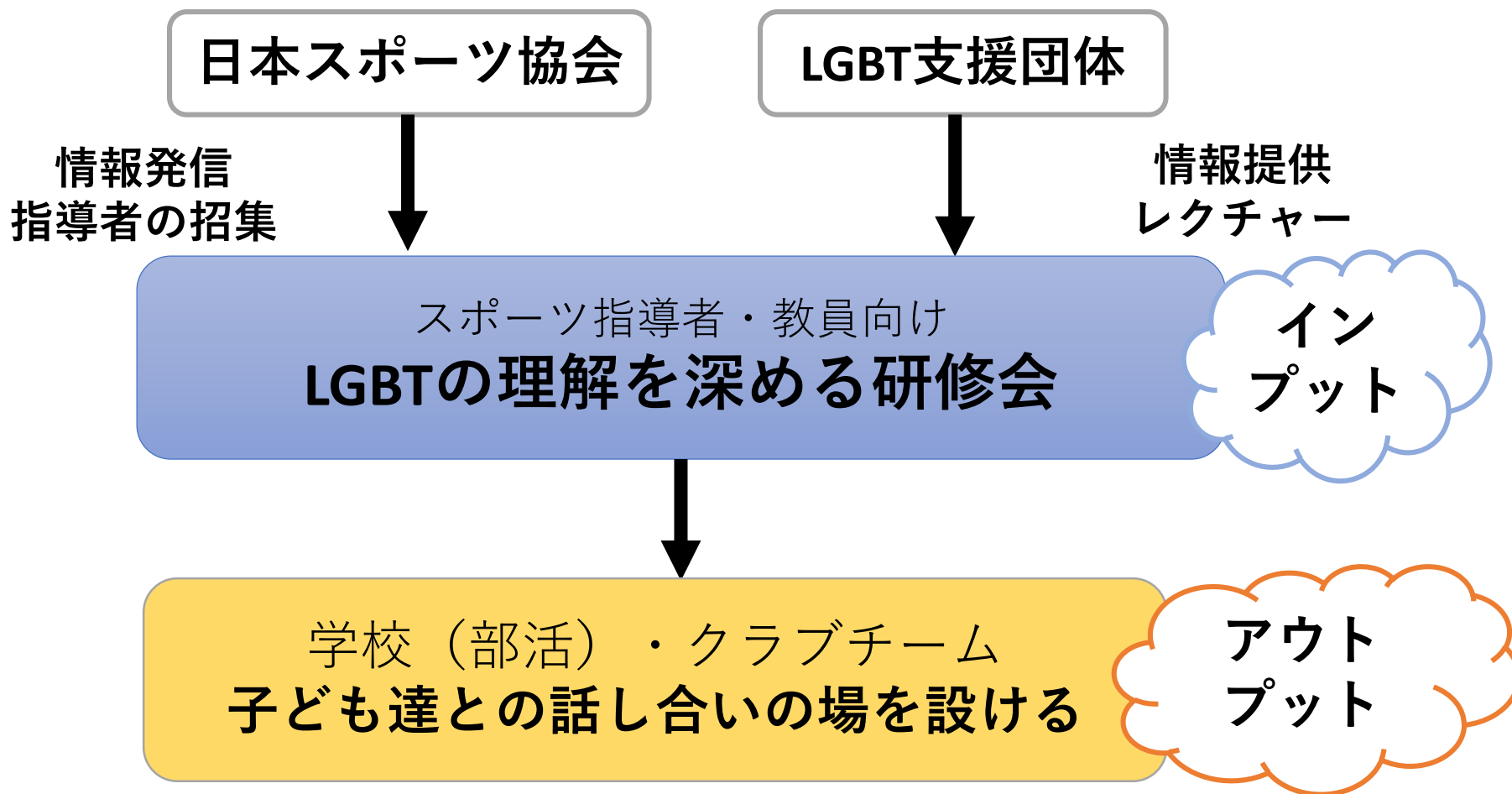
# LGBTの理解を深める研修会 の実施

対象：スポーツ指導者・教員 (公認スポーツ指導者資格を有する者)



LGBTに関する  
適切な情報提供を  
可能に！

## 【組織図・役割】



スポーツ指導者・教員向け  
**LGBTの理解を深める研修会**

**【研修プログラム】**

①学習

多様性の意義

②学習

LGBTの理解、スポーツ界での課題

③学習

スポーツ指導における留意点

④グループ  
ディスカッ  
ション

指導者間での意見交換

**正確な情報提供が可能に！**



## 提言 2. 「行動する」 (提言先：JOC)

# レインボーラン の開催

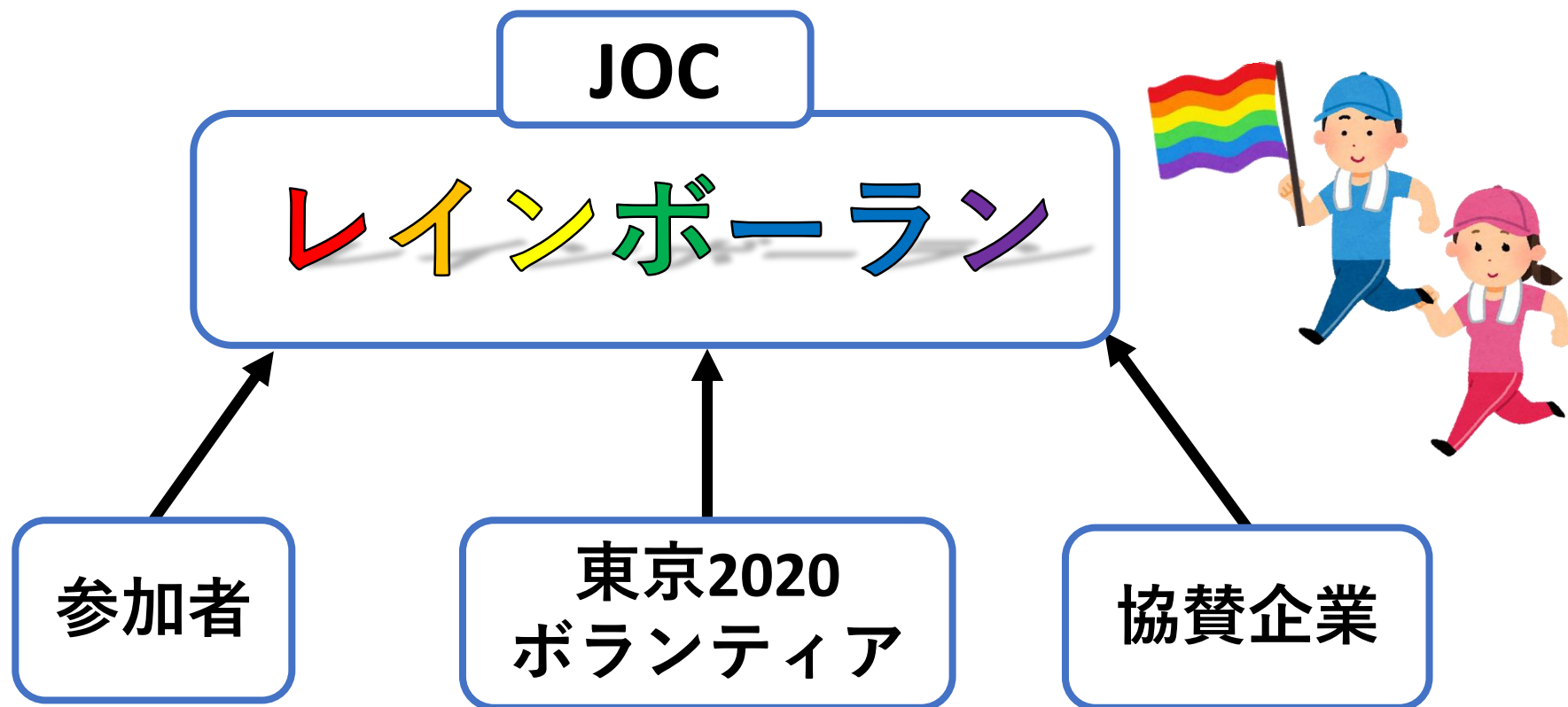
### LGBTの方々との出会い

LGBTの尊厳  
を示す色  
“レインボー”

競技性を  
問わない  
“ランニング”

多くの交流を機に、アライへ

## 【組織図・役割】



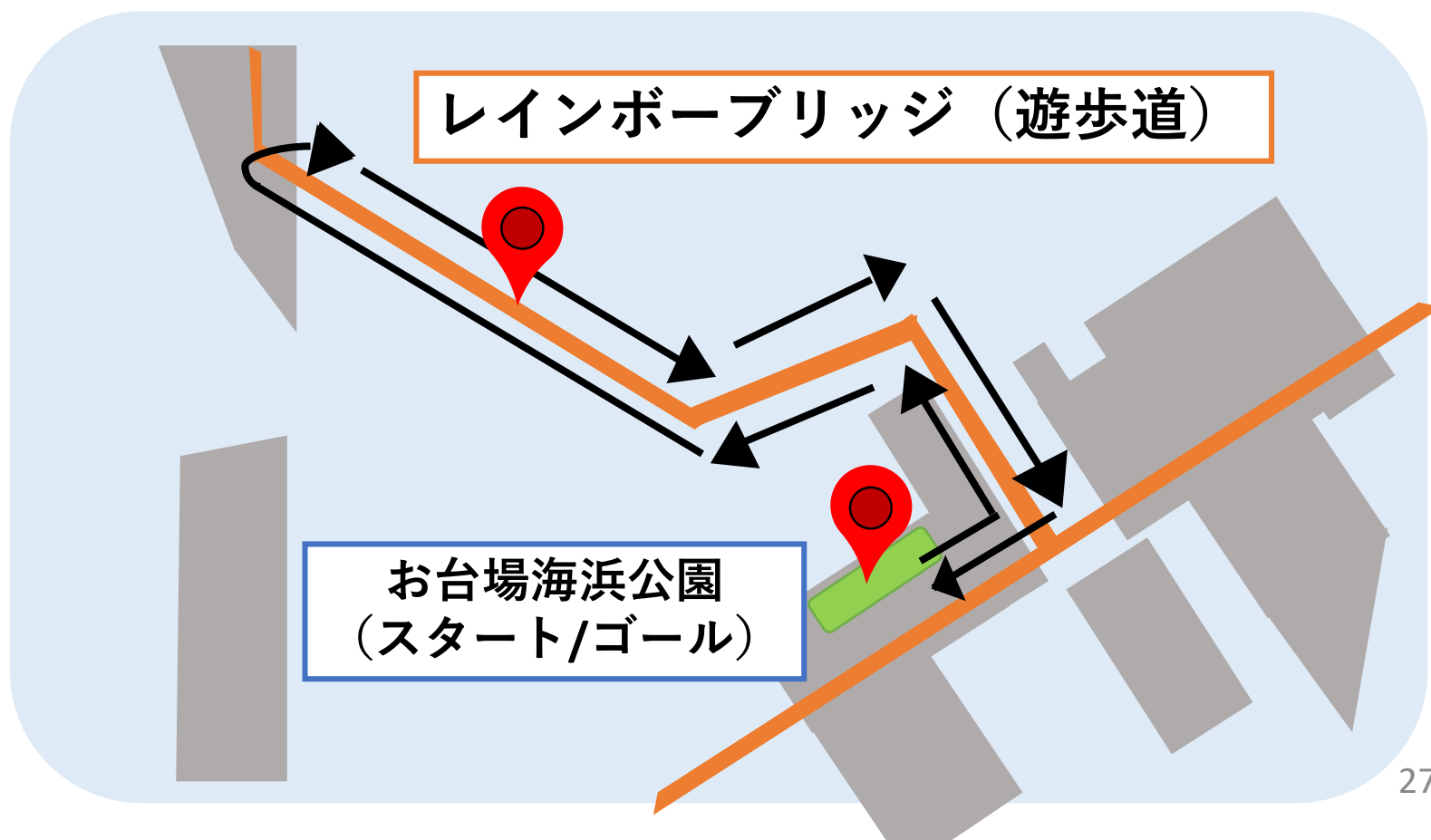
・ LGBT当事者と  
そうでない者の交流

・ 多様性の意義の理解・浸透  
・ 円滑なイベント運営

・ PR活動  
・ 物資等の支援

## 【ランニングコース】 レインボーストリート通過します！

コース全長：約 5 k m



## 【イベント内容・期待される効果】

お台場海浜公園  
(スタート・ゴール地点)



多目的更衣室・トイレの  
設置

イベントの意義を  
参加者に唱える

アライアスリートの招致

LGBT当事者の  
心理的不安を解消

参加者間の共通認識

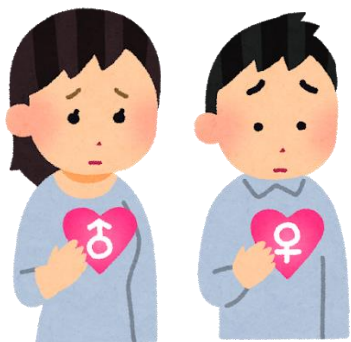
発信力・集客率の増加

## 提言 3. 「支える」 (提言先：JOC)

# RAINBOW BUDDIES の創設

LGBT競技者とステークホルダーの  
関係維持を目的とする仕組みづくり

LGBT競技者



協会  
スポンサー  
ファン

## 【組織図・役割】

JOC

倫理委員会

×

LGBT支援団体

RAINBOW  BUDDIES



日本スポーツ協会



地方自治体

- 競技者向け相談窓口
- 啓発イベント主催

- ルール作り
- スポンサーとの仲介

- 地域への啓発活動  
(イベント・交流会)

## 【期待される効果】

- LGBT競技者を多方面から保護
- 協会やスポンサーからの理解
- 地域に根付くコミュニティ形成



**LGBT競技者を支える環境を確保  
当事者の方も居心地の良いスポーツ界へ**

## 提言 4. 東京2020で行う4つの施策（提言先：JOC）

1 PR動画を用いた啓発活動

2 ボランティアの活用

3 開会式：レインボーフラッグの掲揚

4 閉会式：レインボーフラッグの引継ぎ



## 4. ①PR動画を用いた啓発活動



アライアスリート  
(オリ・パラ選手)

「LGBTフレンドリーを推進する」  
SNSや動画投稿サイトにPR動画を配信  
レインボーリストバンドの紹介

発信



注目



拡散

一般市民



「〇〇選手はアライアスリートなんだ」  
「LGBTってなんだろう？」

## 4. ②ボランティアの活用

東京2020ボランティア



レインボー柄  
リストバンド



ボランティア一丸となり  
LGBTフレンドリーを発信

アスリートの  
不安を取り除く

観戦者に  
興味をもたせる

話題性

## 4. ③開会式：レインボーフラッグの掲揚

選手宣誓でレインボーフラッグを掲揚



レインボーフラッグの意義  
多様性の尊重・LGBTの尊厳



注目度・発信力・LGBTに対する関心

## 4. ④閉会式：レインボーフラッグの引継ぎ



「東京2020が終わりではなく、始まりになる」  
持続的なレガシーへ



# 東京2020のレガシー

**LGBTフレンドリーな五輪大会として**

**多くの人々の記憶に残るレガシー**



**社会の意識改革への足掛かりになる**


スポーツ界における  
LGBTフレンドリーの  
推進



多様性を謳う東京2020で  
LGBTフレンドリーに  
注目を集める



スポーツ界が  
社会のモデルへ



スポーツ界から社会へ  
LGBTフレンドリーの輪を  
広げよう。

## 【参考文献】

- 電通ダイバーシティ・ラボ（2015）LGBT調査2015
- GLSEN（2011）The 2011 National School Climate Survey
- 日高康晴（2016）LGBT当事者の意識調査 ～いじめ問題と職場環境等の課題～
- 日本スポーツ協会（2017）スポーツ指導者に求められる指導上の配慮に関する調査



ご清聴ありがとうございました。